

2 地方創生の推進

(3) 地方の産業競争力の強化 ④ 半導体産業に対する支援

国への提案事項

国内の半導体企業が世界的な競争力を維持・拡大していくためには、最先端技術の研究開発や新規投資が不可欠であり、広島県が重要な拠点となっている半導体産業を強化していくためにも、集中的な投資を行うとともに、環境整備を講じること。

1 日本独自の国内規制を国際標準まで緩和を

半導体製造は、世界各国の装置を早期に導入する必要があるため、例えば、国際規格(米国・SEMIなどの規格)をクリアする装置については、国内基準をクリアしたのものとして、速やかな装置導入を可能とするなど、大幅な規制緩和を講じること。

2 安価な用地・工業用水・電力等の確保に対する支援

半導体製造は、短期間のサイクルで、多額の設備投資が必要であり、その都度、工場拡張用の用地、工業用水、電力の更なる確保が求められることから、安定的で安い電力・用水の供給ができるよう、支援をお願いします。

3 地方大学への支援強化

大学は先端半導体研究とともに、今後の半導体産業を担う次世代を育成する重要な機関であり、研究開発への財政支援、地方大学の定員増加などの措置を講じること。

【提案先省庁：経済産業省，文部科学省】

2 地方創生の推進

(3) 地方の産業競争力の強化

④ 半導体産業に対する支援

現 状／国の取組状況等

- 国は、半導体・デジタル産業戦略(令和3年6月)を策定し、「デジタル産業基盤の確保を、国家事業として取り組むこととし」、「半導体について、大胆な基盤強化を図り、産業発展の方向に舵を切り替える」方針を示した。
- マイクロンメモリジャパン広島工場は、世界のDRAMの約8%を生産し、研究開発機能から生産まで一貫した施設を有する貴重な拠点。

国・地域別生産割合

日本(広島県): 8%

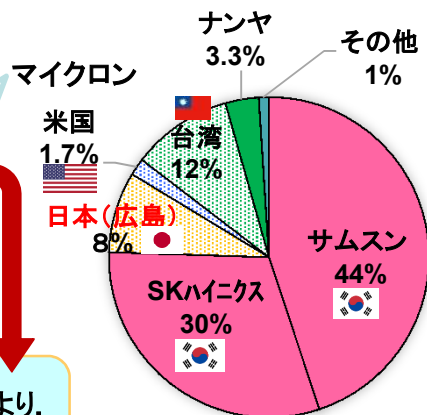
広島工場:

研究開発+生産拠点

台湾: 主に研究(12%)

米国: 主に生産(1~2%)

広島への投資を促進することにより、
DRAMエコシステムを構築



2020メモリ(DRAM)シェア

- 北朝鮮問題や台湾海峡問題など、国際問題への懸念もあり、経済安全保障上、DRAMの日本国内生産の維持や研究開発強化による国際競争力確保は不可欠

課 題

- 半導体は、スマホやPC,自動車,産業用機器・ロボットなど身近な製品等に不可欠な部品。



スマホ・PC

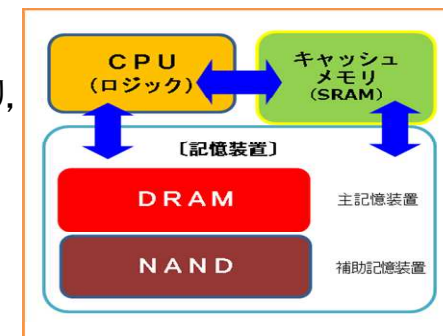


自動車



産業用機器・ロボット

- また、ロジック(CPU)のみでなく、DRAMなどメモリが揃って、初めて機能するものであり、いずれかが欠けてもダメである。ロジック以外への半導体を含めて、国の支援が必要。



- 本県には、国内で唯一のDRAM工場に加え、パワー半導体《三菱電機》やロジック《シャープ》の工場があり、半導体産業の国際競争力維持など基盤強化のためにも、規制緩和、安価な用地・工業用水・電力等の確保、人材育成などに積極的投資をしていく必要がある。